

# みてるの

永平寺町議会  
だより



第65号 INDEX

令和4年2月4日発行

新年議長挨拶 P2  
議会防災対応4年間のあゆみ P2~3  
そこが聞きたい!  
議員12人が一般質問 P13~19  
議会活動レポート P20~22



永平寺町議会  
facebook

永平寺町議会

検索



令和3年11月14日より30日まで、永平寺町四季の森複合施設旧傘松閣においてふくいArts Center and Residenceプロジェクト実行委員会主催の「ZEN礼賛：17人のアーティストによる心の情景 in Tatami Museum of Art2021」展が開催されました。写真家であり湿板光画家であるエバレット・ケネディ・ブラウン氏がエグゼクティブプロデューサーとして、現在国際的な言葉となっている「ZEN」について世界各国の現代芸術家の皆さんに表現していただいた作品群を展示する会となりました。表紙の作品は、今回のZEN礼賛展にエバレット氏が永平寺町の皆さまと触れ合う中で制作されました。



# 新年挨拶



永平寺町議会議長

奥野正司

明けましておめでとうございませう。皆様には、輝かしい新春をお迎えのことと、心からお慶びを申し上げます。平素より当議会の諸活動に深いご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。さて、永平寺北地区と鳴鹿・山鹿地区で運行しております地域の住民が有償ボランティアのドライバーを務めるデマンド型交通「近助タクシー」が、「志比南地区」や「松岡吉野地区」においても試走運行を始めました。レベル4の実証実験を行う自動運転とともに、着々と新しい試みが実りつつあることを実感した一年でございました。令和も早や4年目を迎えます。今年の干支は寅ですが、寅年は芽が実る年ということでもあります。永平寺町にお住まいの方、または勤められている方など、当町に関係する全ての皆様にとって、本年が健やかな成長と、新たな発展を遂げられ、皆様が其々これまで築いて来られたものを大きな実とすることができるよう、十分に芽を实らせることができる一年になることを念願しております。議会と致しましては、「行動（考え動く）する議会」として、独自性と継続性ある地方を創生するため、議員一人ひとりが、意欲・こだわり、継続の意思をしっかりと持ち、SDGsの理念を念頭に、行政とともにより良い町づくりに取り組んで参ります。本年も、より一層の温かいご指導とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、町民の皆様にとって、本年が健やかで実り多き一年となることを心よりお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。

令和2年1月  
第1回議会  
防災訓練を実施

議会災害対応BCPおよび災害時における議会対応指針に基づいて災害対策支援本部が設置された際、最初に実施する議員の安否確認をメールにて実施。また各地域の広域避難場所確認も実施した。

令和2年6月  
議会防災対応BCPについて町と協議

福井県内で初めて自主防災組織が中心となって実施された吉野・坂上地区自主防災連絡協議会防災訓練を視察。参加された皆様は各地区で無事旗の確認を行った後、避難所の設営や受付、対応方法など確認しながら真剣に取り組まれていた。



また、その中で車中泊やコロナ対応のドライブスルー方式受付を円滑に行うことや降雪時期の備品確保、無事旗の表示がない場合でも日頃から近隣住民の状態を把握することの重要性などの課題も確認できた。



令和2年9月  
組織再編後議会防災  
対応を引き続き年間  
テーマに選定

令和2年11月  
「台風」をテーマに  
議会防災訓練実施

令和2年11月  
吉野・坂上地区自主  
防災組織連絡協議会  
の避難所開設訓練を  
視察

総務産業建設常任委員会では、永平寺町議会災害対応BCPの運用を適切に実施および各議員の意識強化と各種実施項目の精度向上を図るため、年4回（各テーマ 5月：出水期、8月：台風、11月：地震、1月：大雪）の議会防災訓練実施を決定した。



令和3年 1月 第2回議会防災訓練  
令和3年 5月 第3回議会防災訓練  
令和3年 11月 第4回議会防災訓練

令和3年5月  
令和3年大雪の総括を  
防災安全課と確認

永平寺町自主防災組織連絡協議会と年2回の意見交換会開催を決定し、7月に第1回意見交換会を実施した。

各ブロック長は現在コロナ禍で思うような活動ができていないとしながらも、企業との連携協定や小地域福祉委員会開催、語り部の会（福井地震について）開催、避難経路を実際に歩く企画を実施するなど、できる範囲で災害時に備えた活動を実施されていた。



今後の課題は新しい永平寺町洪水ハザードマップの活用や福祉避難所・要配慮者利用施設の運用、長期化するコロナ禍で避難訓練の開催方法や避難所運営方法を検討するなど課題は山積みとなっている。まず、関係団体との協力体制構築が大切である。

令和3年7月  
永平寺町自主防災連  
絡協議会と意見交換  
会を実施

## 特集 議会防災対応4年間のあゆみ

総務産業建設常任委員会

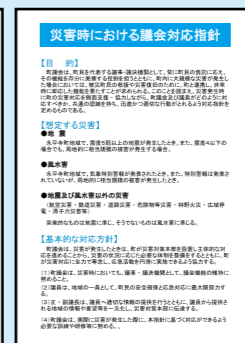
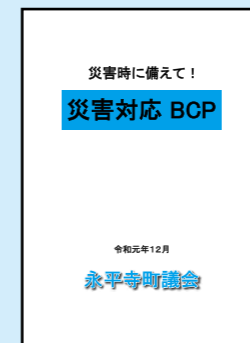
平成30年8月  
議会の防災対応を年  
間テーマに選定

平成30年12月  
平成30年豪雪につい  
て取り組み内容を確  
認

令和元年11月  
議会防災対応マニ  
ュアル作成に向けて京  
都府舞鶴市議会を視  
察

令和元年12月  
永平寺町議会災害支  
援本部設置要綱など  
3件を策定

## 永平寺町議会災害対策支援本部設置要綱(他2件)を策定



京都府舞鶴市議会  
議会防災BCP策定の内容を視察

町議会は町民を代表する議事・議決機関として、常に町民の負託に応え、その機能を存分に発揮する役割を担うとともに、町内に大規模な災害が発生した場合においては、被災町民の救援や災害復旧のために町と連携し、非常時に即応した機能を果たすことが求められることから永平寺町議会災害対策支援本部設置要綱および永平寺町議会災害対応BCP、議会対応行動指針を定めました。

これにより災害時、議会が町と連携し、側面支援・協力しながら町議会および議員がどのように対応すべきか共通認識を持ち、迅速かつ適切な行動が行えるようになりました。

※BCPとは…自然災害など緊急事態が発生しても、組織が事業を継続するための計画のこと。







# 議案への賛否討論

入している社会保険制度によって、保険料や治療頻度、個人負担等に格差があり、それらを軽減すること。均等割半減については、国の制度改正に基づくもの。

## 一般職及び特別職の職員の給与等に関する条例改正

**問** 職員一人当たりの引き下げ額と総額は。賃金引き下げが続いているが、コロナ禍に逆行している。

**答** 課長で68000円、主事で330000円の減額。総額は18000万円の減となる。民間企業の水準に合わせるとい人事院勧告を尊重した。

**問** 人事院勧告を尊重するならば、議会も一般職の下げ率に合わせるべき。

**答** 特別職は一般職に準ずることになっていて。議会は議会で決めたこと。

## 指定管理者の指定 第1審議

**問** 禅の里笑来の来年度から5年間の指定管理者を「まちづくり(株)ZENコネク」に指定するに当たって選考委員から稼働率の更なる向上を

求めている。どう対応するのか。町民の利用促進も図るよう。

**答** コロナ前は約26%の稼働率であったが、現在は20%を下回っている。5年間の基本協定と年度ごとの協定を結ぶ際に、稼働率アップの具体策を協議する。町民の利用促進のため、お茶会や料理教室などのイベントを計画している。

**問** 稼働率20%の宿泊施設をコロナ禍の5年間運営しているのか。監査委員は利用収入272万円に対し、人件費494万円であることを検証すべきと言われているように、今回考え直す好機ではなかったか。

**答** 監査委員の指摘は、指定管理料がまるまる人件費とならないよう、基準を決めなさいというものだった。コロナ禍で厳しい運営と予測されるが、年度協定時によく見極めて判断していく。

**問** 公募したが1社のみの応募申請であった。

**答** 特に合格ラインを設けてはいなかった。



禅の里 笑来

## 議案第80号 行政手続きにおける押印見直しに伴う関係条例の制定について

**反対討論** 金元 直栄  
押印の廃止というが、同時に自署による「署名」まで無くしてしまうのは問題。本人確認を窓口で行うというが、本町内だけの問題ではない。電子化、デジタル化への対応だからというのは、あまりにも安易すぎる。十分な議論が必要。

## 賛成討論

**酒井 秀和**  
本件について理事者より署名・押印が必要な部分を見直しするものではないとの説明があった中で、議題となっている本人の宣誓書などの「署名・押印しなければ」について「記載しなければ」と修正するものがあり、全く問題はない。

## 反対討論

**上田 誠**  
押印見直しに伴い、その規定を削除することには反対である。保険や銀行、契約書での自

書と本人確認(免許証等のコピーなど)をしている現状もあり、自書の必要な書類もあり反対の立場をとる。

## 賛成討論

**江守 勲**  
今回の条例改正は、総務省の法改正に伴う条例改正であり、行政窓口の事務の簡素化、町民の利便性の向上に繋がる。指摘のあった自筆署名については、記載署名の場合でも本人確認をすると説明があり理解したので賛成する。

## 議案第81号 個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について

## 反対討論

**金元 直栄**  
マイナンバーの導入以後、すでにビックデータが企業により、企業の利益のために利用されている。個人の同意があればそれも利用できるという今回の改定は、儲けのためには手段を選ばない企業戦略の中で、個人の同意を口実に個人情報の一歩きは認められない。さらに国の進めるデジタル化の中、個人情報管理そのものが危うく

なっている。

## 賛成討論

**酒井 秀和**  
本件について個人情報取扱い「本人の同意が前提」と理事者より十分な説明を受けている。

## 議案第83号 一般職の職員の給与に関する条例及び特別職の職員の給与及び旅費等に関する条例の制定について

## 反対討論

**江守 勲**  
今回、国の人事院勧告を受け期末手当を、一般職0・15か月、特別職0・1か月引下げするものであり、議会だけ0・05か月の引下げは明確な根拠が示されていない中での議論である。また、国難の状況で町民や町内事業者の皆さんに大きな負担がかかっている。今回、一般職員や特別職だけが負担増となり、議会の身を切る覚悟が見えない。これでは町民の理解を得られず反対する。

## 賛成討論

**金元 直栄**  
人事院勧告による職員給与の

引き下げだと言うが、この20年間、働く人の実質賃金は下がったままで、この状況の中、コロナ禍だから引き下げるといのは、一般に働く人の賃金をさらに引き下げる口実にもなり得ることから、この引き下げの条例には反対する。

## 賛成討論

**酒井 和美**  
民間の支給額の減少に合わせた公務員給与の引き下げは妥当なもの。議員の引下げ率も同じく人事院勧告、県が方針を定めたところに従うべきである。今年度議会活動を振り返る中でも語ろう会や視察の回数は減少、臨時会回数も増えておらず、活動が縮小している。当議会が定めた引下げ率は根拠がない。

## 賛成討論

**滝波登喜男**  
民間企業の水準に合わせる引き下げなので、致し方ない。議員の下げ幅については、議会が協議した結果である。

## 第7回定例会議案

承認第18号 損害賠償の額を定めることの専決処分の承認について	承認	議案第82号 暴力団排除条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第66号 令和2年度一般会計及び特別会計の決算認定について	認定	議案第83号 一般職の職員の給与に関する条例及び特別職の職員の給与及び旅費等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第67号 令和2年度上水道事業会計の剰余金処分及び決算認定について	認定	議案第84号 国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第77号 令和3年度一般会計補正予算について	可決	議案第85号 国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第78号 令和3年度国民健康保険事業特別会計補正予算について	可決	議案第86号 指定管理者の指定について	可決
議案第79号 令和3年度下水道事業特別会計補正予算について	可決	議案第87号 令和3年度一般会計補正予算について	可決
議案第80号 行政手続きにおける押印見直しに伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	可決	発委第3号 コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書の提出について	可決
議案第81号 個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について	可決	発委第4号 議会基本条例の一部を改正する条例の制定について	可決

## 議案への賛否一覧

	松川	上田	中村	金元	滝波	齋藤	江守	伊藤	長岡	川崎	酒井和	酒井秀	朝井
議案第66号	賛	反	賛	反	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
議案第80号	賛	反	賛	反	賛	賛	賛	賛	反	賛	賛	賛	賛
議案第81号	賛	反	賛	反	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
議案第83号	賛	反	賛	反	賛	賛	反	賛	賛	賛	賛	賛	賛

※反対または退席があった議案だけ載せています。したがって、その他議案等12件については全員賛成です。



議案第66号「令和2年度一般会計及び特別会計の決算認定について」

一般会計

歳入総額 **115億8,290万円** (前年度比30.4%増) 歳出総額 **112億3,983万円** (前年度比30.6%増)

歳入歳出とも前年度を上回る決算規模となった要因としては、新型コロナウイルス感染症対策に要する費用が皆増となったため。臨時財政対策債の借入額は2億1,000万円で、最終的に令和2年度の一般会計決算の実質収支額は2億9,969万円（前年度比34.8%）となった。

特別会計

歳入総額 **50億4,347万円** (前年度比2.2%増) 歳出総額 **48億9,887万円** (前年度比2.3%増)

議案第67号「令和2年度上水道事業会計の剰余金処分及び決算認定について」

決算額 **4億680万円** (予算額3億87,565千円に対し収入率は105.0%であった。)

一般会計歳入の構成割合 (単位:千円%)

歳出の構成割合 (単位:千円%)

		歳入額	構成割合			歳出額	構成割合
自主財源	町税	2,062,416	17.8	議会費	109,310	1.0	
	分担金及び負担金	61,588	0.5	総務費	3,387,789	30.1	
	使用料及び手数料	58,240	0.5	民生費	2,754,001	24.5	
	財産収入	11,132	0.1	衛生費	592,499	5.3	
	寄附金	19,263	0.2	労働費	28,137	0.3	
	繰入金	15,768	0.1	農林水産業費	529,369	4.7	
	繰越金	274,009	2.4	商工費	258,585	2.3	
	諸収入	144,754	1.2	土木費	1,272,819	11.3	
計	2,647,170	22.8	消防費	336,493	3.0		
依存財源	地方譲与税	82,305	0.7	教育費	1,108,245	9.9	
	利子割交付金	2,561	0.0	公債費	859,892	7.6	
	配当割交付金	10,873	0.1	災害復旧費	2,693	0.0	
	株式等譲渡所得割交付金	12,677	0.1	歳出合計額	11,239,832	100.0	
	法人事業税交付金	7,460	0.1				
	地方消費税交付金	421,824	3.6				
	自動車取得税交付金	0	0.0				
	環境性能割交付金	6,953	0.1				
	地方特例交付金	16,919	0.1				
	地方交付税	4,084,218	35.3				
	交通安全対策特別交付金	1,516	0.0				
	国庫支出金	2,996,357	25.9				
県支出金	601,863	5.2					
町債	690,200	6.0					
計	8,935,726	77.2					
歳入合計額	11,582,896	100.0					

令和3年 第8回臨時会報告

議長 奥野 正司

令和3年第8回永平寺町議会臨時会は、12月21日(火)に開催されました。審議された内容は次のとおりです。

令和3年度一般会計補正予算(議案第88号) 審議報告

子育て世帯への臨時特別給付金事業  
0歳~18歳対象児童約2,700人に対し  
一人当たり10万円支給(国10/10)

**1億2,542万円**

**主な質疑応答**  
問 年内一括10万円支給。間に合った他の市町もあったが、その検討は。  
答 支給システム会社と検討を行ったが、間に合わないという事であった。市町によってシステム会社は異なる。  
問 対象外人数は。  
答 児童保護者のうち主たる生計者の年収が960万円以上が対象外となる。

第8回臨時会議案

議案第88号  
令和3年度一般会計補正予算について

可決

予算決算常任委員会報告

委員長 伊藤 博夫

令和3年8月30日、第5回永平寺町議会定例会において、本委員会に付託された議案第66号「令和2年度一般会計及び特別会計の決算認定について」と、議案第67号「令和2年度上水道事業会計の剰余金処分及び決算認定について」は、9月27日には、代表監査委員との意見交換会と工事完了後の現地視察を10か所、そして10月6日~26日までの内、6回委員会を開催し、慎重な審議を行った。

令和2年度 決算認定	一般会計	<b>112億3,983万円</b>	特別会計	<b>48億9,887万円</b>
	歳出	上水道事業会計収益的支出 <b>3億350万円</b>	資本的支出	<b>1億4,856万円</b>





行政各課へ各委員が224件の質問通告書を提出し、各課長より通告の回答を含む説明を受けたのち、質疑応答を行い、最後に予算執行の責任者である町長出席のもと、総括質疑を行った。議会より17項目の指摘事項に対し行政より回答の申し出を受け、10月26日予算決算常任委員会を開催し、丁寧な説明を受け、4項目の提言をまとめた。議案第66号は賛成多数、議案第67号は全員賛成で認定し、下記提言について、令和4年度当初予算編成に反映するよう求めた。



## 議案への賛否討論

議案第66号  
令和2年度  
決算認定について

### 反対討論

金元 直栄

この間の町政運営で見えるのが、①幼・保育園の再編や統廃合は、保育所設置本来の目的からも、地域の存亡という点からも、進め方が強引で、民営化も、その大きすぎる規模も、大いに問題だ。②大人の施設はまだまだ整理されてはいない。子らへのしわ寄せは、最後のはずだ。③町の人口を減らさない取り組みの遅れも著しい。④税の収納もコロナ禍で生活苦の中、100%近い収納率と異常だ。災害の中、企業だけでなく、住民の減免こそ考えるべきだが、これも見られない。よって昨年度の決算には反対する。特別会計では、国民健康保険、後期高齢者、介護保険特別会計に反対する。

### 賛成討論

酒井 和美

幼保再編は保護者アンケートの中で民間園が欲しい意見多数であった。公立しかない町に選択肢必要。人口増対策はけやき台地区が道路事業により福井市からの利便性高めることの必要性示しており、町道路事業と都市計画改定に期待している。税収納については実際にコロナ下で困られている方から税の減免・猶予を受けた話を聞いており、適切に遂行されている。

## 令和2年度決算認定に係る提言

1. 令和4年度も引き続き、感染症対策及びコロナ禍により打撃を受けた人との絆や生活への支援、経済回復のための支援を重点的に励まされたい。
2. 永平寺町の高齢者・未成年者・障がい者など交通弱者の福祉向上のため、コミュニティバス、近助タクシー、自動走行、路線バス、えちぜん鉄道の地域公共交通それぞれが、各地区の地域特性・地域ニーズに合わせた形で利便性がより高まるよう、これからの在り方を検討されたい。
3. 国の定めた目標年度である令和5年度までに、地域を支える介護福祉ケアシステム作りが実現できるよう、地域包括支援センターに依拠せず、全町あげでの体制づくりを再構築するよう検討されたい。
4. 主要事業については、予算額に関わらずその成果を必ず示されたい。

## 地方財政対策の意見書提出を決定

総務産業建設常任委員会

委員長 酒井 秀和

12月10日に委員会を開催し、協議案件を慎重に審議した。  
議案第3号 全員賛成

コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書の提出について

### 【主な意見】

近年のコロナ対策として必要なものではあるが、期限なく継続することは好ましくない。

町の税財源における比率が高い固定資産税などの確保を求めらるものであり、地方税財源の確保に向けて重要である。

### ○議会の防災対応

11月22日、永平寺町議会災害対応BCPに基づいて「地震」をテーマに議会の防災訓練実施し、安否確認・各地域危険箇所の写真をメールにて送付した。次回、令和4年1月20日「大雪」をテーマに実施する。

### ○行政案件

各担当課出席のもと行政関連事業の現状と今後の展望について説明と内容の確認を行った。



12月防災訓練

### ●まちづくりワークショップ

町内14の企業・団体で構成され、禅文化と地域資源を活用した交流人口拡大を目指すためのまちづくりワークショップを令和2年度から8回開催。町内の観光資源を結び取り組みの具現化に向けて検討中。

### ●ワーケーション事業

永平寺町観光物産協会が中心となりワーケーション事業（仕事（ワーク）と休暇（バケーション）や教育（エジュケーション）などを融合した観光）を検討中。令和4年より大本山永平寺を中心とした検証に入る。

### ●自動走行事業

国の実証実験フィールドとして現在レベル4実証実験中の荒谷志比区間で更なる検証を実施。令和3年に国土交通省と警察庁の視察も実施された。

## コロナ感染症対策の現況等について

教育民生常任委員会

委員長 金元 直栄

12月定例会中の12月10日委員全員の参加で開催し、当面の課題について、副町長出席のもと報告を受けた。

○コロナワクチンの3回目接種と計画

・町内高齢者へ接種券の発送が1月下旬から始まり、当面は個別接種となる。  
3〜4月頃から集団接種も始まる予定。



ワクチン接種会場

○子育て臨時特別給付金の支給予定と町の考え

・子育て支援課が担当  
・12月末に現金で5万円  
（理由は本町は早く先ず5万円、年内に支給する。高校生以外には通知済みにより）  
・高校生は1月末に他の残り5万円と同時に給付。

○福祉灯油について  
石油類が高騰していることから、一人暮らしの高齢者や、ひとり親家庭、生活弱者へ全国的にも灯油代等として支援が広がっていること。この支援分は国から交付税の支援があることから、本町でも取り組むべきだとの申し入れに対し、県からは12月7日までに町の計画を示せと照会があったが、町として特別な対応は行なっていないとの報告。

○常任委員会の年間テーマの扱いと担当委員の再確認

・「コロナ対策と住民生活の調査」として、1月中旬に民生委員や、社会福祉協議会と懇談を行い、活動の中で掴んだコロナ禍での住民の生活を聞くことを決めた。

・「子どもにとって望ましい教育のあり方」については、学校アンケート等から学びたい。

○この間、視察を行っていないことから、県内視察を考えていきたと提案があった。案としては、坂井市の重層的相談活動が示された。



### 令和3年度事務事業における提言

総務産業建設常任委員会、教育民生常任委員会において対象事業の抽出を行い、事業ごとに担当課とヒアリングや進捗確認を行い提言の取りまとめをした。令和4年度当初予算に反映してもらうよう11月29日、町長へ議会提言を申し入れた。



#### 【自動走行・ICT拠点】(松川、川崎)

○自動走行推進事業  
1 レベル4に向けた技術実証事業を実施し、レベル4の自動運転の認可を目指されたい。

2 コミュニティバス・自動走行車・近助タクシーの地域交通としての位置付けを明確にし、運行形態の実証にも注力されたい。

○ICT拠点施設運営事業  
1 多業種交流センターは自動走行関連の企業活動、ワーケーションでの活用、町民の利用等でより積極的な利活用の促進を進められたい。

2 旧傘松閣は各種会合、研修、イベントの場所として利用促進を目指されたい。

○空き家対策関連事業 (中村、酒井秀、奥野)

○移住定住促進事業  
町内主要幹線道路の完成を見据えた小規模及び中規模宅地造成を進めるとともに、ターゲット客層を明確にして転入増加に向けて積極的に取り組まれたい。

#### ○住宅支援事業

空き家対策は空き家1件1件の今後を明確にするとともに、所有者が対応しやすい仕組みづくりを構築するなど空き家解消に向けて積極的に取り組まれたい。

【ふるさと納税事業】(齋藤、伊藤)  
1 ふるさと納税寄付金額の更なる確保に努められたい。

2 町の歳入確保にあたってはふるさと納税事業とともにクラウドファンディング事業についても調査・研究を進められたい。

られたい。

#### 【ギガスクール】(上田、江守、酒井和)

1 授業の効率化や主体的学習の促進、通信環境の問題、感染対策のオンライン授業実現、不登校児支援など、タブレット持ち帰りの必要性は非常に高いものと判断される。持ち帰り活用が全体的に進むよう支援を行われたい。

2 教育格差が発生しないよう、子どもたちの放課後のネット環境支援や、操作に対する困り感解消に工夫を凝らされたい。

3 コミュニケーションツールを使ったいじめ問題や、斜視・健聴炎などの健康被害、受動的な学習への偏重など、ICT活用による危険性には十分に配慮されたい。

4 5G時代に向かうデジタル社会の情勢の変化に合わせた通信環境整備が行えるよう、GIGAスクールサポーター運営委員会やEまなびの会、教育委員会等で随時十分な検証を行い、行政は必要な支援を行われたい。

5 専門的な知識を有するGIGAスクールサポーターは非常に有効な支援となっており、今後も継続されたい。

6 現時点ではデジタル化への移行で業務負担が大きいところであると思うが、将来的にはタブレットの導入が職員の業務軽減と、子ども達とのふれあいの時間につながるよう意識を持ち取り組まれたい。

#### 【ごみの軽量化と、生ごみ処理ごみの分別と資源化】

(金元、滝波、長岡、朝井)  
1 庁舎内の町民が見える場所に使用している段ボールコンポストを設置して、段ボールコンポストがどういふものかを見てもらい利用促進を図られたい。

2 小中学校では可燃ごみの減量について学ぶ教育の一環として、段ボールコンポストを利用して、生ごみが肥料に変わることを体験学習を実施されたい。

3 段ボールコンポストの基材(「コピート」もみ殻燻炭・おがくず・竹粉・腐葉土)を希望者には無料配布して促進されたい。

#### 【公用車管理諸経費】

1 自治体が次世代省エネ自動車を導入する効果は、町民が積極的に電気自動車やe-power車、PHV車への乗り換えを促進し、二酸化炭素排出削減へのPRとなり、カーボンニュートラルへの意識向上につながる。自治体は率先して公用車の更新時には電気自動車やe-power車、PHV車を導入されたい。

2 本町内に急速充電スタンドは、道の駅(上志比地区)と永平寺口駅(永平寺地区)の2箇所である。現時点で、松岡地区には設置がない。急速充電スタンドの新設が必要と考える。設置場所として、福井大学病院・県立大学・シヨッピングセンター・えい坊館・公民館など町民が集まる場所や滞在する場所を検討されたい。

# 問&答

## そこが聞きたい!

### 12月定例会 一般質問

12名の議員が町政全般について、一般質問を行いました。一般質問は議事録に基づき質問議員本人がまとめています。

中村勘太郎 … 13P	朝井征一郎 … 14P	齋藤 則男 … 14P
長岡千恵子 … 15P	江守 勲 … 15P	松川 正樹 … 16P
川崎 直文 … 16P	酒井 秀和 … 17P	上田 誠 … 17P
金元 直栄 … 18P	酒井 和美 … 18P	滝波登喜男 … 19P

一般質問 目次

### 問 コンパクトシティー・永平寺町公共施設の在り方は地域での在り方を踏まえ検討する

問 令和4年度の予算方針の中で、本町の教育施設を除く50施設の公共施設を対象に、廃止の方向性を重視したいとは。

財政課長 今後、10年間の改修計画を検討し、施設の統廃合、用途変更、再編等について、利用状況を踏まえ、廃止可能な施設は優先的に検討したい。

問 再編についての利用状況を踏まえと言うことだが、文教施設や福祉施設・スポーツ施設等の公共施設が在るが、その利用度で、例えば30%か20%かの線引きとかを考えているのか。

財政課長 全町民が使う施設もあれば地域の方々に使う施設もある。

答 利用数が少ないからではなく、地域の活性化がどうなるかを重視し施設の再編を考えていきたい。

問 合併当時、130施設位の公共施設が在ったが、今現在本町の公共施設保有数は変わっていないが、町民から、老朽化し使われていない施設の維持管理費はもつたいないという見方もある中で、地域の実情や声を大事にし、慎重になお且つ積極的に取り組んで頂きたいが。

町長 公共施設の統廃合は、合併してからの大きな課題だ。財政のことを十分に踏まえ、解体費用も計画的に進めたい。

問 今後、更なる財政健全化を進めるためには、経常経費の圧迫にまで財源不足状況にならないように、公共施設の維持管理を迅速かつ強力に推進し、将来の財源不足の解消に向け積極的に取り組むべきだ。

町長 地域の方々や利用されている方々のご意見を踏まえ、広い視点とミクロの視点、色々な視点で常に今の時代に合っているのか、社会情勢とかを踏まえながらしっかり進めたい。



中村勘太郎 議員



永平寺町役場 本庁



問 子どもの虐待を防ぐには

答 早期発見、早期対応に努める



朝井 征一郎 議員

問 なぜ親が子どもを虐待してしまうのか。虐待のない社会を目指すとして、児童虐待防止法、子どもの命を守るため児童福祉法や児童虐待防止法が改正。子どもが安心して成長できる社会への実現に向けて、親の体罰禁止など児童福祉法や児童相談所があり、医師が配備されている。子どもたちを守る視点から、親は無力感やいら立ちから思わず手を上げてしまう。近隣や地域社会全体がお互いに温かい言葉をかけ、力になつてあげる事が重要ではないか。虐待、不登校を防止し保護者への支援を。町の小中学校では、虐待、不登校はどうか。



学校教育課長 町内でも不登校の児童生徒はいる。その対策として、1、魅力ある楽しい学校づくり。2、指導力の向上によってわかる授業づくり。3、アンケート調査やこまめな面談。この3点を意識して、不登校の未然防止に取り組んでいる。子育て支援課を児童福祉協議会の中で15件把握している。関係課から随時報告を受け、要保護児童対策地域協議会および子育て世代包括支援センターで取り扱い、会議を開き専門家からアドバイスを受け支援をしている。教育長 教員が見て虐待の疑いがある場合は必ず報告を義務付けている。子育て支援課を通して児童相談所と連携している。アンケート調査、生活調査、面談をしながら早期発見し、未然防止を進めていく。

町長 役場の中で情報提供や、いろんな所から情報に対応するように取り扱いを慎重に、取り組んでいきたいと考えている。

問 子どもたちを守る環境づくりを

答 災害想定避難訓練を毎年実施



齋藤 則男 議員

問 次の時代を支える子ども達を安全・安心に成長させるのは、我々大人の責任。小中学での防災教育の必要性、安全対策は。

学校教育課長 災害を想定した避難訓練は各学校で年2回以上実施。加えて今年度から防災士の会や防災安全課の協力を得て防災教育を実施。

問 ハザードマップを使った教育は。学校教育課長 行っている。保護者から、家でもマップを見て災害発生時の避難の話がで



小学生の登校

問 各種災害を想定した家族との連携による子どもの引き渡し訓練について、参加した保護者等の感想は。また教育委員会としてのどのように課題を分析し、活かしていくのか。

学校教育課長 今年度の引き渡し訓練は、小学校6校が実施済みで、1校は今後実施の予定。保護者の感想は、「幼・小合同の訓練はと聞いていた。きたと聞いている。登校前、登校中、下校中等様々な状況が考えられるが。学校教育課長 学校保健安全法の中では、通学を含めた学校生活、その他の日常生活における安全指導、職員研修の計画策定及び実施が義務とされる。

問 保護者に対する経済的支援等は多くあるが、子ども達の健全育成のための施策が見えてこない。親子がゆつくり寛げる場の整備の実現を。

町長 子ども達の遊び場、また保護者同士のコミュニケーションの場が必要だと思う。

問 幼稚園・幼児園の申込書の変更を簡素化できることは簡素化

答 複数年での申し込みはできないのか。



長岡 千恵子 議員

子育て支援課長 申込書は教育・保育給付認定申込書も兼ねていて。法に基づき毎年認定。単年の申し込み。最低限必要な情報は、子育て支援課長 申込書の記載情報は認定に必要な条件で、国の様式に準じる。

問 申込書の内容は簡素化できないか。

子育て支援課長 認定に情報は必要。法の規定に対応。可能なところは簡素化したい。



幼稚園幼児園申込書

◆入園申込の状況と令和5年度の対応は

問 入園申込書の状況は。

子育て支援課長 東46人、西110人、なかよし108人、松岡幼稚園51人。

問 4年度末に西と幼稚園が閉園。在園児への対策・対応は。子育て支援課長 希望

問 個人番号の記載を求めているなら保護シートが必要では。

子育て支援課長 対応

問 防災力向上の取り組みの進捗は

答 個別避難計画策定に仕組み



江守 勲 議員

問 平成29年6月議会で福祉避難所は8か所あるが不足が予想され追加を検討すると答弁されたが進捗は。

防災安全課長 平成29年当時は幼児園を中心に福祉避難所8施設・収容人数1348人。平成31年度に施設状況と収容人数を見直し、福祉施設を含む6施設・収容人数1780人と400人増加。また、福大の酒井教授と協働で福祉避難所の増設や設備改善、備品整備について協議している。12月19日に避難訓練を実施し、実効性のある福祉避難所を目指す。

問 今年5月の災害対策基本法の改正により、災害発生時に手助けを必要とする要支援者の個別避難計画作成が自治体の努力義務になった。現在の取り組み状況は。

防災安全課長 避難行動要支援者の登録は471名。町内8集落をモデル地区に設定し10

問 地区別防災計画の進捗は。

町長 地区が地域の特



12月19日の福祉避難訓練



問 「物書きて扇引きさく余波哉」を生かして

答 住民の自主的活動に期待する

問 松岡に遺された芭蕉の俳句を町おこしに生かしてほしい。1680年「おくのほそ道」の旅の折、天龍寺にて立花北枝との別れを詠んだ句。昭和53年、その場面を石像にした。松岡の役場の前には大きな看板に、大きな文字で書かれたものもあつた。お寺の門の近くには芭蕉塚もある。松岡の先輩方はご熱心だった。「おくのほそ道」は世界最高の紀行文。それを活かさない手はない。「物書き」「扇引きさく」「余波」のどこにこだわりますでしょうか。

全部を活かしてもよろしい。大いに悩みましよう。

生涯学習課長 芭蕉塚と石像のある天龍寺には、芭蕉の足取りを求めて訪れる方々が今でも多い。俳句を生かした町づくりは、例えば俳句サークルや文化協会などの自主的活動



天龍寺 余波哉の碑



松川 正樹 議員

を期待する。その際には、わがまち夢プラン育成支援事業等を活用していただければと考えている。

【その他の質問】  
問 町独自のカリキュラムは誰が作成するのか。  
答 来年度方向性を探る。

問 町は文化芸術が弱いと指摘されたが。  
答 改めて文化芸術振興の取り組みを強化していきたい。

問 町内の物産・観光関係者とよく相談し、再スタートしたい。  
答 町の物産・観光関係者とよく相談し、再スタートしたい。

【その他の質問】  
問 「マルトリートメント（不適切な養育）」という専門語を知ってほしい。  
答 友田教授にアドバイスをいただいている。

問 学生や若者による地域での活動は

答 大学防災サポーター、永平寺町学等での取り組み

問 学生、若者がまちづくりに参画し、実践している取り組みは。

総合政策課長 福井工業大学の学生による野球教室の開催、福井大学の防災サポーターの地区での救助訓練への参加が行われている。県立大学の永平寺町学では、永平寺町内の魅力を小冊子にまとめる取り組みが行われている。

問 県外の大学による取り組みでは、早稲田大学の学生による十二曲がりの取材、町の文化財企画展への出展、立命館大学の学生による町内の魅力を再発見するサイクリングマップ作りがある。

これからの活動に令和2年からこれまで延べ



永平寺町学は平成29年に開講。講義、フィールドワーク、発表会が行われている



川崎 直文 議員

211名の学生が参加。

問 若い世代が地域づくりの担い手となるような組織の設立や活動の支援は。

生涯学習課長 ジュニアリーダーの育成に取り組んでいる。小学4年生から高校生まで現在28人が参加。前向きな青少年を育成し、地域とのつながりを深めていくことが近い将来に生きてくると考え、子ども会の役員と一緒に取り組んでいる。

【その他の質問】  
問 地域おこし協力隊制度の活用は。  
答 地域おこし協力隊員の募集状況は、農業の振興に2名、水産業の振興に1名を募集している。

問 わがまち夢プラン育成支援事業の状況は。  
答 令和2年度は申請1件、令和3年度に1件の活用実績。

【その他の質問】  
問 志比南地区公民館は必要。  
答 創作館の危険性から小学校に移転した。  
問 ワクチン接種の現状と充実を。  
答 子宮頸がん・肺炎球菌・風疹も鋭意進めている。



令和10年完成を目指すインター線予定地

問 インター線の早期着工・完成を

答 令和10年の完了を目標とする

問 当初計画でインター線の事業完了は令和7年までであったが、現状と事業完了時期は。

建設課長 用地交渉が遅れているため3年ほど伸びる。現段階で事業完了は令和10年の完了を目標とする。

問 永平寺インター線の整備を進めるにあたり完成後のイメージはできているか。

建設課長 インター線周辺の土地利用につ

ては企業誘致や居住環境の開発を考えている。

問 永平寺インター線完成後に企業誘致したいとの問い合わせはあるか。

総合政策課長 3件ある。物流関係、金融関係、不動産関係の問い合わせがある。

◆志比幼稚園の民営化と移転を

問 永平寺地区幼稚園・幼児園再編の当初計画では令和5年4月に3園が統合し1園で運営する計画だったが、その見直しは。

子育て支援課長 再編については現在検討中の学校のあり方検討委員会の答申内容などを踏まえて策定してい



酒井 秀和 議員

く。  
問 インター線の完成後は人口増加が見込まれるが、永続的な話でない。先を見据えた統合は必要である。志比幼稚園を民営化し移転すべきと思うがどうか。

子育て支援課長 改めて地域や保護者としてしっかりと協議して進めていきたい。

問 永平寺地区の発展、町長の考えは。

町長 土地利用を考慮の中でインター線の位置づけは大きい。皆さんと一体となってまちづくりを進めていきたい。

【その他の質問】  
問 交流人口拡大は世界視野の対策を。  
答 近隣市町と連携し進めていきたい。

問 小・中学校統廃合、若者子ども消え地域衰退

答 最終決定ではない 地元説明と理解で

問 少子高齢化に伴い、何もせずこのままだと更なる人口減が予測され、幼保の再編統廃合が示された。今度は、小・中学校の事実上の統廃合に繋がる学校のあり方検討の諮問がなされた。文科省は、全国で小規模校が半数になる現状から、小・中学校適正規模配置手引きを改定した。統廃合のみでなく存続には、メリットの最大化とデメリットの最小化の具体策が必要と指摘している。当町では、先生方の知恵と創意工夫、地域の連携等で成果があると評価しているが所見は。

教育長 諮問している立場であり、学校のあり方検討の内容に関し

【その他の質問】  
問 志比南地区公民館は必要。  
答 創作館の危険性から小学校に移転した。  
問 ワクチン接種の現状と充実を。  
答 子宮頸がん・肺炎球菌・風疹も鋭意進めている。

問 文科省の新しい考えは、地域コミュニティの核としての機能を重視する観点から、①統合で魅力ある学校地域活性を図る②地域の総力で小規模校のメリットの最大化、デメリットの克服で存続を示

【その他の質問】  
問 志比南地区公民館は必要。  
答 創作館の危険性から小学校に移転した。  
問 ワクチン接種の現状と充実を。  
答 子宮頸がん・肺炎球菌・風疹も鋭意進めている。

【その他の質問】  
問 志比南地区公民館は必要。  
答 創作館の危険性から小学校に移転した。  
問 ワクチン接種の現状と充実を。  
答 子宮頸がん・肺炎球菌・風疹も鋭意進めている。



上田 誠 議員

ての考えは、答申前なので控えたい。  
問 存続を核に、地域再生、共生社会（支え合い）としての日常生活コミュニティ、防災の拠点として、公民館と共に最小インフラとして重要であり欠かさないと考えらるが。

副町長 学校が場所、スペース的に合理的な拠点。子どもがいなくても存続すれば活用できる。より良い環境を第一に検討する。

問 文科省の新しい考えは、地域コミュニティの核としての機能を重視する観点から、①統合で魅力ある学校地域活性を図る②地域の総力で小規模校のメリットの最大化、デメリットの克服で存続を示

【その他の質問】  
問 志比南地区公民館は必要。  
答 創作館の危険性から小学校に移転した。  
問 ワクチン接種の現状と充実を。  
答 子宮頸がん・肺炎球菌・風疹も鋭意進めている。

【その他の質問】  
問 志比南地区公民館は必要。  
答 創作館の危険性から小学校に移転した。  
問 ワクチン接種の現状と充実を。  
答 子宮頸がん・肺炎球菌・風疹も鋭意進めている。

【その他の質問】  
問 志比南地区公民館は必要。  
答 創作館の危険性から小学校に移転した。  
問 ワクチン接種の現状と充実を。  
答 子宮頸がん・肺炎球菌・風疹も鋭意進めている。



米価下落へ 農家支援を

問 農家の手取りは原価割れしている

問 今年には農家の手取り米価が大幅な下落をしただけでなく、収量も作況より少なかった。米一俵あたりの生産原価約1万5000円を大きく下回っている。コロナ対策で商業者へ町独自の支援も行ってきているが、小農家も含め町独自の支援を行うべきだ。

農林課長 国の示す生産原価と比べ生産者の手取りは原価割れしており、経営的に厳しいことは否定できない。

町長 小規模農家への支援はコロナ禍の中、考えていかなければと思っている。

◆人口増(減)対策は町が取り組まないという人口対策は特別に

◆学校のあり方検討と町長の責務

問 内容は小中学校の統廃合に向けた文案となっているが、学校の存廃は周辺地域の存亡につながるだけに、多数の意見だとして地域に押し付けるべきでない。



学校のあり方検討委員会



金元 直栄 議員

ける。本町は京都の近くで条件は良いのに民間の開発は一部だけ。社会的移動がある以上、居住環境の整備は自治体に求められる。

町長 人口が減っている中では、子育てや福祉等サービスの良いところと、町の発信力が必要。民間の入りにくい上志比や永平寺地区で宅造りに組み込まれる都市計画の見直しにも取り組むたい。

町長 適正配置への意見が挙がってくる中で、もう一度地元に入り、住民の声を聞きながら進めたい。

く、文案には多様な意見を示すべき。

町長は、地域を守るためにも学校は残すと言明し、少人数学級の実施など、教育内容の充実こそ議論すべき。

教育長 答申には一つにまとめるというより、それぞれの考えが含まれている。

町長 3年前に同様の質問をさせていただき、R2事務事業検証で、人手不足解消・組織体制の整備・資料展示計画・収蔵庫地震対策の提言を行った。その後進捗と今後を伺いたい。文化財事業の体制はどうか。

生涯学習課長 R2より兼任の職員、専任の会計年度任用職員の文化財調査員各1名の体制。業務量は広範囲で少なくない。来年度、会計年度で文化財調査員を1名追加して引継ぎ体制を作る。近い将来学芸員の正職員も考えたい。

問 文化財展示・教育は。

生涯学習課長 今年度松岡公民館にて長期間の企画展を2期開催。四季の森2階・旧傘松閣も展示の入れ替えを行う。文化財講座は年3回行い、行政チャンネルで放送。



教育民生常任委員会にて企画展視察

問 文化財保護委員の活動は。

生涯学習課長 各町史、40〜50年程度経過。しかしまず文化財調査から。

問 指定文化財の維持管理、発掘・調査は。

生涯学習課長 草刈りは外部委託。町対応の必要性に応じ範囲検討。看板は老朽看板の修繕中。新規設置は新年度以降で検討。複数

永平寺町の文化財について

問 後世への伝承、郷土愛の醸成を大事に

問 3年前に同様の質問をさせていただき、R2事務事業検証で、人手不足解消・組織体制の整備・資料展示計画・収蔵庫地震対策の提言を行った。その後進捗と今後を伺いたい。文化財事業の体制はどうか。

生涯学習課長 R2より兼任の職員、専任の会計年度任用職員の文化財調査員各1名の体制。業務量は広範囲で少なくない。来年度、会計年度で文化財調査員を1名追加して引継ぎ体制を作る。近い将来学芸員の正職員も考えたい。



酒井 和美 議員

の企画展を2期開催。四季の森2階・旧傘松閣も展示の入れ替えを行う。文化財講座は年3回行い、行政チャンネルで放送。

教育長 専門的な手が加わり地下倉庫の文化財が息を吹き返した。教育委員会として継続に努めたい。

問 文化財保護委員の活動は。

生涯学習課長 年3回。合併後、町文化財指定なかった。積極的に協議中。

問 指定文化財の維持管理、発掘・調査は。

生涯学習課長 草刈りは外部委託。町対応の必要性に応じ範囲検討。看板は老朽看板の修繕中。新規設置は新年度以降で検討。複数

孤立する子どもたちに支援を

問 アンケートで子どもの悩み調査

問 孤立する子どもたちが大きな社会問題となっている。その原因に、いじめ・ヤングケアラー・貧困・虐待などがある。町の実態とその対応は。

学校教育課長 学校では年3回以上のいじめアンケートなどを行い、気になる子どもは個別面談など、対応に努めている。複数の教員でチームを作り早期対応している。

子育て支援課長 警察や児童相談所、民生児童委員や社会福祉協議会などから、身体虐待・心理的虐待などの事案の連絡があり、要保護児童対策地域協議会や子育て世代包括支援センターで支援対応をしている。



滝波登喜男 議員

問 先進地では、学校に相談室を設けて専門職員が常駐。教室に入れない子どもの居場所を作っている。その職員は、子どもと信頼関係を築き、悩み相談を受けている。

教育長 県立大の学生による心のサポーター事業を行っている。年齢の近い学生なので、子ども達もいろんな相談をしている。

問 第2期永平寺町子ども・子育て支援計画の中の子育て満足度調査では、ひとり親家庭や発達障がい児・虐待児への支援の満足度が極端に低い。その支援は。

子育て支援課長 昨年度、保育カウンセリングを23回、親子支援教

室を10回開催し、延べ207人参加した。臨床心理士や言語聴覚士からアドバイスを受けた。

問 幼児期・義務教育期・成人期と、気がかりな子を支援する必要はある。それには、包括的支援体制の確立が必要。

子育て支援課長 子育て世代包括支援センターが窓口となり、各課と協議し対応している。

【その他の質問】問 高齢者の免許返納状況は。答 65歳以上の方で平成30年60件。令和元年62件。2年32件となっている。

議会と語ろう会についてのお知らせ 及び 永平寺町議会基本条例一部改正のお知らせ

例年2度開催されておりました議会と語ろう会につきまして、昨今のコロナウィルス感染症拡大や大雪などの災害の発生の状況を鑑み、年1回以上の議会報告会の開催を定める永平寺町議会基本条例を、下記の通り一部改正することを全員協議会にて全会一致で決定し、令和3年12月15日発委第4号「永平寺町議会基本条例の一部を改正する条例の制定について」を第7回定例会にて提出し、可決いたしましたことをご報告申し上げます。

Table with 2 columns: 修正前 (Before Amendment) and 修正後 (After Amendment). The table details changes to Article 4 of the Basic Ordinance, specifically regarding the frequency of council reports and public meetings.

次回の議会と語ろう会は4月下旬〜5月開催の予定です。







**LGBTQとはなにか**

≪LGBTQとは、「性的少数者」の総称である  
10人～13人に1人? 割合 →左きき、AB型

<b>L</b>	<b>G</b>	<b>B</b>	<b>T</b>	<b>Q</b>
Lesbian <sup>(1)</sup>	Gay <sup>(2)</sup>	Bisexual <sup>(3)</sup>	Transgender <sup>(4)</sup>	Questioning <sup>(5)</sup>
同性愛者	同性愛者	両性愛者	変性愛者	性別違和

(1) 同性を好きになる  
(2) 同性、異性どちらも好きになる  
(3) 自分の性別に違和感を持っている  
(4) 自分の性の在り方がきまっていない、決めたくない人

≪LGBTQの人の特徴

- ・本人が言わないと分からない、
- ・見た目や仕事、言葉使いでは分からないもの

今年はいへいじ男女共同参画計画改定年です。一般質問や予算審議、常任委員会でも各議員より改定についての質問が出されています。今度の改定ではより社会の価値観が多様化する共生社会の実現に向けてLGBTQの文言も盛り込まれる方針であることから、議会も福井県人権センターの人権相談員の方を講師にお招きし、全議員参加のもとLGBTQ理解促進のための研修会を行いました。

現在、全国の取り組みとしては家庭裁判所での戸籍性別変更、パートナーシップ制度の導入（141自治体、22年

度中に東京都も導入予定）、他者の性指向を暴露する「アウティング」を禁止する条例の制定、福井県で見られる取り組みとしては各種申請書・公文書からの性別欄の削除、学生服のジェンダーレス化があることを学びました。



# 議会活動レポート

Eiheiji town council activity report

ホームページ・facebookに  
随時更新中!





# 議会・各委員会の議員出欠状況

令和3年9月21日～令和4年1月20日

議員名(議席番号順)		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14		
		松川正樹	上田誠	中村勲太郎	金元直栄	滝波登喜男	齋藤則男	江守勲	伊藤博夫	長岡千恵子	川崎直文	酒井和美	酒井秀和	朝井征一郎	奥野正司		
出席回数		40	41	36	40	45	34	46	40	36	37	45	46	40	36		
会議回数		40	41	36	41	46	36	46	40	36	37	46	46	40	36		
出席率		100%	100%	100%	98%	98%	94%	100%	100%	100%	100%	98%	100%	100%	100%		
No.	日付	会議名		○ - 出席 × - 欠席 - - 員外 △ - 遅・早 研 - 研修 傍 - 傍聴 吊 - 吊事													
1	9/21	総務産業建設常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
2	9/22	全員協議会(決算説明)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
3	9/27	予算決算常任委員会	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	
4	9/27	教育民生常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
5	9/27	議会広報特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
6	10/1	議会広報特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
7	10/6	予算決算常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
8	10/6	臨時全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
9	10/7	予算決算常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
10	10/7	議会運営委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
11	10/8	総務産業建設常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
12	10/12	予算決算常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
13	10/13	予算決算常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
14	10/14	予算決算常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
15	10/14	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
16	10/14	第6回臨時会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
17	10/14	議会運営委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
18	10/18	教育民生常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
19	10/20	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
20	10/25	合同研修	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
21	10/26	予算決算常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
22	10/26	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
23	11/8	議会運営委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
24	11/9	総務産業建設常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
25	11/10	教育民生常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
26	11/10	LGBTQ研修	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
27	11/10	臨時全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
28	11/22	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
29	11/22	議会運営委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
30	11/29	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
31	11/29	第7回定例会(開会)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
32	12/6	本会議(一般質問)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
33	12/7	本会議(一般質問)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
34	12/8	本会議(一般質問)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
35	12/8	臨時全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
36	12/9	本会議(第一審議)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
37	12/10	総務産業建設常任委員会	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
38	12/10	教育民生常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
39	12/13	IT化プロジェクト	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
40	12/15	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
41	12/15	本会議(採決・閉会)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
42	12/21	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
43	12/21	第8回臨時会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
44	12/21	定例全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
45	1/11	議会運営委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
46	1/12	総務産業建設常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
47	1/12	議会広報特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
48	1/17	教育民生常任委員会	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
49	1/18	議会広報特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
50	1/20	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
51	1/20	第1回臨時会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

12/5

## アラレガコ生息地石碑設置記念式典参列 & 伝統漁法エバ漁見学

SDGs



本年度第2回定例会にてアラレガコ生息地石碑設置工事請負費490,000円、第5回定例会にて石碑案内板設置費183,000円(県地域環境保全対策費等補助金10/10)が承認され、九頭竜川資料館わくわくRiverCAN(法寺岡)に石碑が設置されました。記念式典では天然記念物である「アラレガコ生息地」についてご説明をいただきました。



生息地の範囲は大野市から福井市まで広がっていますが、これまでどこにもアラレガコ生息地を示す案内表示がなかったとのことでした。わくわくRiverCANでは屋内展示にて九頭竜川の生態系やエバ漁の仕掛けについて学ぶことができます。アラレガコ生息地は伝統的な漁法や食文化まで包括した意味での天然記念物です。当日松岡河川公園にてエバ漁のデモンストレーションも行われました。

**テレビ中継で**  
**ご覧ください**

## 3月定例会 (予定)

**3月14日(月) 10時~**  
**3月15日(火)・16日(水)・17日(木)・18日(金)・22日(火)**  
9時~

**3月24日(木) 9時~**  
**3月25日(金) 14時~**  
**3月28日(月)**

**【本会議】**  
**【一般質問・本会議(第1審議)】**  
**【本会議(第2審議)】**  
**【本会議(第3審議)・採決】**  
**【予備日】**

○日程は、都合により変更になる場合がありますので、ご了承ください。  
○会議は傍聴することができます。  
★事前申し込み不要  
★バリアフリー、エレベーター完備  
★ソーシャルディスタンスでの傍聴をお願いします



# 心繋がる永平寺町議会

## お知らせ

あなたが撮った写真を  
議会だよりの表紙に  
しませんか？

# 私の永平寺町自慢を募集！

あなたが大好きな永平寺町の季節ごとの風景や、誰も知らない素敵な隠れスポットをご紹介頂いて、議会だよりの表紙にて永平寺町の魅力を発信してください。（議会だよりは2月・4月・7月・10月の季刊発行です。）



応募方法：

メールにて「私の永平寺町自慢」の件名にて、ご住所・お名前・お電話番号、写真を撮った場所を記載し、画像ファイル（jpg、4000×3000px、1MB～5MB程度のもの、縦長）を添付の上、下記議会事務局のアドレスまでお送りください。3月10日締切

**E-mail:gikai@town.eiheiji.fukui.jp**

現像写真やCD-Rの場合は、〒910-1192 永平寺町松岡春日1丁目4番地 議会事務局まで郵送下さい。

※お名前と撮影場所を掲載させてください。

※人物が写っている場合には掲載の許可を頂いているものをご提供下さい。

※60～67号で応募していただいたお写真を表紙にさせていただく予定です。

応募多数の場合には、67号裏表紙にて掲載させていただきます。



議会だよりを読んで  
さらに詳しく議会の  
知りたくなったら？

### 初級者編：テレビをみでの！



議会は生中継を行っています。

再放送は翌々月1日より順次放送します。朝6時、夜12時、1日2回同じ内容を放送します。

放送日程はテレビのリモコンの番組表ボタンを押してご確認ください。

### 中級者編：傍聴にきての！



役場本庁舎3階までお上がりください。エレベーターもごございます。事前申込み不要。お気軽にお越しください。

### 上級者編：ホームページをみでの！



議会日程や議事録が閲覧できます。議員の意外な横顔も!?



<https://www.eiheiji-gikai.jp/>

## 編集者のひと言

昨年を振り返ると、コロナのデルタ株が猛威をふるい、東京オリンピック・パラリンピックの開催が危ぶまれる中での開催となった。開催の賛否はあったが、私、個人的には選手の皆さんから感動と元気をもらったと思っている。特に、福井県出身選手の金メダル獲得には喜びが倍増した。

ところが、昨年末よりコロナのオミクロン株が流行の兆しを見せている。しかし、暗くならず希望を持って新年を迎えたいと思っています。

町民の皆様におかれましては、令和4年こそは良い1年となります事を心より願っています。

(江守 記)

### 議会広報特別委員会

委員長 朝井 征一郎  
副委員長 酒井 和美

委員 松川 正樹・上田 勲  
滝波 登喜男・江守 誠  
酒井 秀和

発行責任者 奥野 正司